石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領

第1 目的

獣医師奨学金等返済支援給付事業を事業実施主体が実施するに当たり、獣医系大学において獣医学を専攻し、獣医師を志す学生又は獣医師免許を取得している者であり、かつ独立行政法人日本学生支援機構等の奨学金（以下「奨学金」という。）の返済を予定、若しくは返済を行っている者に対して、返済支援金を給付することにより、本県の農林水産部又は健康福祉部に勤務する獣医師（以下「県獣医師」という。）を安定的に確保することを目的とする。

第2 事業実施主体

本事業の事業実施主体は、公益社団法人石川県獣医師会（以下「獣医師会」という。）とする。

第3 事業内容

この給付事業は、本県の県獣医師を確保するため、学校教育法(昭和22年3月31日法律第26号)に規定する大学において獣医学を専攻する学生（卒業生を含む。以下「獣医学生」という。）又は獣医師免許を既に取得している者を対象とし、次の条件に該当する場合に、次の給付額にて奨学金の返済支援金を給付するものとする。

1 給付の条件

- (1) 獣医学生であって、将来、獣医師免許取得後、本県の県獣医師として従事しようとする者であること。又は、獣医師免許を既に取得している者であって、県獣医師として従事しようとする者であること。
- (2) 奨学金の返済を予定、若しくは返済を行っている者であること。
ただし、次に該当する者を除く。
 - ア 「石川県獣医師養成確保修学資金」の貸与を受けた者
 - イ 既にこの要領の規定により返済支援金の給付を受けた者
- (3) 公益社団法人石川県獣医師会獣医師奨学金等返済支援給付事業実施規程（令和7年7月10日付け石獣発第89号、以下「獣医師会規程」という。）に基づき、獣医師会と返済支援金の給付に関する契約を締結した者（以下「給付者」という。）であること。
- (4) 獣医学生が次に該当しないこと。
 - ア 退学すること。
 - イ 獣医学以外を専攻すること。
 - ウ 心身の故障のため修学の見込みがなくなると認められること。
 - エ 学業成績又は性行が著しく不良となったと認められること。
 - オ その他返済支援金の給付の目的を達成する見込みがなくなると認められること。
- (5) 獣医学生は、獣医師免許を取得した年度内に本県の獣医師として就業すること。

- (6) 獣医師免許を既に取得している者は、返済支援金の給付を受けた年度内に県獣医師として就業すること。
- (7) 第8に規定する返還金の返還債務の履行の猶予の限度を超えて家畜衛生又は公衆衛生等に関する技術協力で海外に派遣されないこと。又は就業予定先の都合（人事異動も含む）により県獣医師としての業務以外の業務に従事しないこと。
- (8) 県獣医師として、別表1に定める方法で定める期間以上従事すること。

2 給付額

返済支援金の給付額は、給付者が借り入れた（又は卒業までに借り入れ見込みの）奨学金の返還総額（利息を含み、延滞金、返還免除額及び返済済額を含まない。）のうち、給付者の返還していない奨学金の額とする。ただし、給付額の上限は給付者1人あたり480万円とする。

第4 返済支援金給付希望者の募集及び事業の実施方法等

- 1 県は、給付者の募集を行う場合、獣医師奨学金等返済支援給付者募集要望書（別記様式第1号）を作成し、獣医師会へ提出する。
- 2 県は、この事業の適正かつ円滑な実施を図るため、この事業の目的、内容等の周知等を行うものとする。

第5 返済支援金給付者の選定の協議

- 1 獣医師会は、返済支援金の給付を受けようとする者から、獣医師会規程に基づく「獣医師奨学金等返済支援給付申請書」の提出があり、当該申請者に返済支援金を給付することが適当であると認めるときには、返済支援金給付申請の協議について、申請書とともに次に掲げる書類又はその写しを添えて知事に提出する（別記様式第2号）。

（提出書類）

- ア 学長又は学部長の推薦書（獣医師免許を既に取得している者にあつては、最終学校卒業証明書及び獣医師免許の写し）
- イ 健康診断書
- ウ 返済支援金の給付を受ける学年の前学年における学業成績証明書（獣医師免許を既に取得している者にあつては、最終学校成績証明書）
- エ 主たる家計支持者1人の所得証明書又は源泉徴収票の写し
- オ 奨学金等の月々の受給額及び返済額を証する書類
- カ 知事が必要と認めるもの

- 2 知事は、協議結果について獣医師会へ通知しなければならない（別記様式第3号）。

第6 返済支援金の給付

- 1 給付額の決定

給付額は、給付者、獣医師会及び県の協議により決定するものとする。

2 県の負担方法

前項で決定した給付額は県が負担するものとし、石川県補助金交付規則（昭和34年7月20日規則第29号）第4条に規定する補助金交付申請書は別記様式第5号、同規則第13条に規定する事業実績報告書は別記様式第8号のとおりとする。

3 返済支援金の給付方法

- (1) 獣医師会は、返済支援金の給付を受ける者との間で給付契約を締結して行うものとする。
- (2) (1)の契約書には、給付額、返還、返還金、加算金、返還猶予、返還免除、延滞利子、連帯保証人等に関する要件を備えなければならない。
- (3) 獣医師会は、返済支援金に関する契約を締結した場合には、契約書の写しを知事に提出するものとする。

第7 返済支援金の返還

- 1 獣医師会は、給付者が、第3の1に違反したときは、給付に関する契約を解除し、給付した返済支援金を返還させるものとする。返還に当たっては、獣医師会規程の別添の規定により算出される額の返済支援金及び加算金（以下「返還金」という。）を徴収するものとする。
- 2 獣医師会は、給付者に返還請求を通知した日から6か月以内に返還金を返還させるものとする。ただし、災害、疾病その他やむを得ない理由により返還金を返還することが困難であると認められるときは、3年を限度として返還金の返還を猶予することができる。

第8 返還金の返還債務の履行猶予

獣医師会は、返済支援金の給付を受けた者が次の各号の一に該当するに至ったときは、累積3年（（3）にあつては、当該事由が継続する間）を限度として、返還金の返還の債務の履行を猶予することができる。この場合において、猶予期間は、第3の1の（8）に規定する県獣医師として従事した期間に算入しない。

- (1) 家畜衛生又は公衆衛生等に関する技術協力で海外に派遣されることとなったとき。
- (2) 本県の都合（人事異動も含む。）により一時的に県獣医師としての業務以外の業務に従事することになったとき。
- (3) 災害、疾病、出産、育児、介護その他やむを得ない理由により県獣医師としての業務に従事できないとき。

第9 延滞利子

獣医師会は、返済支援金の給付を受けた者が、正当な理由がなく返還すべき金額を返還しなければならない日までに返還しなかったときは、返還すべき日の翌日から返還の日までの期間の日数に応じ、年10.95パーセントの割合で計算した額の延滞利子を

徴収するものとする。

第10 返還金の処理

獣医師会は、返済支援金の給付を受けた者から、返済支援金の全部又は一部の返還があった場合には、速やかに知事に対し返戻するものとする。

第11 返還の免除

獣医師会は、給付者が次の各号の一に該当するに至ったときは、第7の規定にかかわらず、返還金の全部又は一部の返還を免除することができる。

- (1) 死亡、事故又は心身の故障のため、県獣医師として業務に従事することができなくなったとき。
- (2) 県のやむを得ない事情により、県獣医師として業務に従事することができなくなったとき。

第12 連帯保証人

返済支援金の給付を受けようとする者は、連帯保証人（給付者と連帯して契約の条件の不履行により生じる給付者の債務を負担する者（自然人に限る。）をいう。以下同じ。）を立てなければならない。なお、連帯保証人は2人とし、給付者に父又は母があるときは、連帯保証人のうち1人は父又は母でなければならない。

第13 報告

- (1) 獣医師会は、返済支援金の給付を受けた者から契約に基づく業務従事期間満了の確認申請があった場合にはこれを確認し、従事期間満了確認通知書（別記様式第4号）により知事に報告するものとする。
- (2) 獣医師会は、次の各号の一に該当するに至ったときは、速やかに知事に関係書類の写しを添付して報告するものとする。
 - 一 給付契約を解除したとき
 - 二 返済支援金の返還を請求したとき
 - 三 返済支援金の返還を免除したとき
 - 四 返済支援金の返還を猶予したとき
 - 五 その他契約書に定めるとき

第14 帳簿等の整備保管等

獣医師会は、本事業に係る経理を適正に行うとともに、その内容を明らかにした帳簿及び関係書類を整備保管するものとする。また、その保管期間は給付者が就業先で従事期間が満了するまでとする。

知事は、この要領に定めるもののほか、事業の実施及び実績について、必要に応じ、獣医師会に対し調査または報告を求めることができるものとする。

第15 その他

この事業の実施にあたっては、石川県補助金交付規則（昭和 34 年 7 月 20 日規則第 29 号）に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

また、その他この事業の実施に必要な事項については、県と獣医師会で協議して別に定める。

別表 1 業務従事期間（第 3 関係）

業務従事期間の算出方法	業務従事期間（月数） ＝（助成金の額（円）） / 4,800,000（円） × 72（月数） ※小数点は切り上げ
-------------	--

附 則

この要領は、令和 7 年 7 月 10 日から施行し、令和 7 年 4 月 1 日から適用する。

別記様式第1号

年度獣医師奨学金等返済支援給付者募集要望書

第 号
年 月 日

公益社団法人 石川県獣医師会
会 長 様

石川県知事 印

獣医師奨学金等返済支援給付事業において、当石川県は 年度に下記のとおり給
付者の採用を希望するので、よろしくご配慮いただきたい。

記

1 給付者希望人数 名

石川県知事 様

公益社団法人 石川県獣医師会
会 長

年度獣医師奨学金等返済支援給付者計画書の協議について

公益社団法人石川県獣医師会獣医師奨学金等返済支援給付事業実施規程（令和 7 年 7 月 10 日付け石獣発第 89 号）の第 7 及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領（令和 7 年 7 月 10 日付け畜産第 590 号）の第 5 に基づき、標記計画書について協議します。

別記様式第3号

第 号
年 月 日

公益社団法人 石川県獣医師会
会 長 様

石川県知事

印

年度獣医師奨学金等返済支援給付者計画書について

年 月 日付 第 号で協議のあった標記の件については、異議がありません。

別記様式第4号

従事期間満了確認通知書

第 号
年 月 日

石川県知事 様

公益社団法人 石川県獣医師会
会 長

このことについて、 年 月 日付で から申請があり、申請のとおり県獣医師として業務に従事したことを確認したので通知します。

石川県知事 様

金沢市才田町戊部324番地3
公益社団法人 石川県獣医師会
会 長

年度石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金交付申請書

年度において、下記のとおり石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業を実施したいので、補助金 円を交付されたく、石川県補助金交付規則（及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領）の規定により関係書類を添えて申請いたします。

記

- 1 事業の目的
- 2 事業の内容及び経費の配分 (別紙第1のとおり)
- 3 事業計画の概要 (別紙第2のとおり)
- 4 事業実施期間 着手予定 年 月 日
完了予定 年 月 日
- 5 収支予算 (別紙第3のとおり)
- 6 その他

公益社団法人 石川県獣医師会
会 長 様

石川県知事

印

年度石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金交付決定通知書

年 月 日付 第 号で申請のあった石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金については、石川県補助金交付規則及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領の規定に基づき、下記のとおり交付することに決定したので通知する。

記

- 1 補助金の交付の対象となる事業は、年 月 日付 第 号で申請のあった補助金交付申請書に記載の事業とし、その内容は申請書記載のとおりとする。
- 2 補助事業に要する経費及び補助金の額は、次のとおりとする。
ただし、補助事業の内容が変更された場合の補助事業に要する経費、補助対象経費及び補助金の額については、別に通知するところによるものとする。

補助事業に要する経費	金	円
補助金の額	金	円
- 3 補助事業の実施及びこれに対する補助金の交付については、次の条件に従わなければならない。
 - (1) 補助事業に係る収入支出を明らかにした帳簿を備え、かつ当該収入及び支出についての証拠書類を、給付者が就業先で従事期間が満了するまで保管しなければならない。
 - (2) 補助事業が完了したときは、事業実績報告書を補助事業の完了した日から起算して30日以内もしくは年3月31日のいずれか早い日までに提出しなければならない。
 - (3) 石川県補助金交付規則第6条第1項第1号中の「知事が定める軽微な変更」とは次に掲げる変更以外の変更とし、軽微な変更以外の変更を行うときは、知事の承認を得なければならない。
 - ① 総事業費の20%を超える増減
 - ② 事業の内容及び事業計画の概要に関する変更

- (4) 事業実施主体は、事業の実績に応じ、補助金の額の8割を超えない金額について、概算払い請求することができることとする。
- (5) その他補助事業の実施にあたっては、石川県補助金交付規則及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領の定めるところによる。
- (6) 前各号の条件に違反した場合には、補助金の全部又は一部の返還を命ずることがある。

石川県知事 様

金沢市才田町戊部324番地3
公益社団法人 石川県獣医師会
会 長

年度石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業 $\left. \begin{array}{l} \text{変更} \\ \text{中止} \\ \text{廃止} \end{array} \right\}$ 承認申請書

年 月 日付 第 号により補助金交付決定の通知があった石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業を下記のとおり（変更・中止・廃止）したいので、承認されたく、石川県補助金交付規則（及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領）の規定により申請いたします。

記

1 変更・中止・廃止 の理由

2 補助金額	変更前の額	円
	変更後の額	円
	差引(追加・減額)申請額	円

3 変更の内容

(注) 変更前及び変更後の事業の内容及び経費の配分を比較対照できるよう補助金交付申請書の様式により変更前を赤字または（ ）書で2段書すること。

石川県知事 様

金沢市才田町戊部324番地3
公益社団法人 石川県獣医師会
会 長

年度石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実績報告書

年 月 日付 第 号により補助金交付決定の通知があった石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業を下記のとおり実施したので、石川県補助金交付規則及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領の規定により関係書類を添えて報告いたします。

記

- 1 事業の目的
- 2 事業の内容及び経費の配分 (別紙第4のとおり)
- 3 事業の概要 (別紙第5のとおり)
- 4 事業実施期間 着手年月日 年 月 日
完了年月日 年 月 日
- 5 収支決算 (別紙第6のとおり)
- 6 その他

石川県知事 様

金沢市才田町戊部324番地3
公益社団法人 石川県獣医師会
会 長

年度石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金（精算）請求書

年 月 日付 第 号により補助金の額の確定通知があった石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金として、下記金額を交付されるよう石川県補助金交付規則（及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領）の規定により請求いたします。

記

請 求 額	円
内 訳	
交付決定額	円
(交付済額)	円)
(精算請求額)	円)
(残 額)	円)

石川県知事 様

金沢市才田町戊部 3 2 4 番地 3
公益社団法人 石川県獣医師会
会 長

年度石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金 概算払
前金払 請求書

年 月 日付 第 号により補助金交付決定の通知があった石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金のうち下記金額を（概算払・前金払）で交付されるよう石川県補助金交付規則（及び石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業実施要領）の規定により請求いたします。

記

請 求 額	円
内 訳	
交付決定額	円
(交付済額	円)
今回請求額	円
残 額	円

第 号
年 月 日

公益社団法人 石川県獣医師会
会 長 様

石川県知事

印

年度石川県獣医師奨学金等返済支援給付事業補助金額確定通知書

年 月 日付 第 号で実績報告のあった標記補助事業について、下記
のとおり補助金額を確定したので通知する。

記

補助金確定額 金 円

事業の内容及び経費の配分

(単位:円)

区分	事業費	負担区分	
		県補助金	自己資金
返済支援金			
名分	(名 × 円 =)		
事務費			
計			

事業計画の概要

返済支援金

区分	区分 〔 ・ 獣医学生 (学年) ・ 獣医師免許取得者 〕	給付額
給付者		

事務費

科目	事業費	内容
計		

収支予算

(1) 収入の部

(単位：円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
県補助金				
自己資金				
合計				

(2) 支出の部 (単位：円)

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
返済支援金				
合計				

事業の内容及び経費の配分

(単位:円)

区分	事業費	負担区分	
		県補助金	自己資金
返済支援金			
名分	(名 × 円 =)		
事務費			
計			

返済支援金

区分	氏名	区分 (・ 獣医学生 (学年) ・ 獣医師免許取得者)	給付額	給付者 番号
給付者				

区分	氏名	契約解除理由	給付額	契約解除 年月日	給付者 番号
契約解除者					

区分	氏名	免除・猶予理由	給付額	猶予開始年月 日 (猶予期限満 了 年月日)	給付者 番号
返還免除者					
返還猶予者					

区分	氏名	給付額	就業先	就業年月日 (返還免除予定 年月日)	給付者 番号
県獣医師 となった者					

事務費

科目	事業費	内容
計		

(1)収入の部

(単位:円)

区分	本年度決算額	本年度予算額	比較増減	備考
県補助金				
自己資金				
合計				

(2)支出の部

(単位:円)

区分	本年度決算額	本年度予算額	比較増減	備考
返済支援金				
合計				